2011.4.30 島根日日新聞

「山陰に拡がる論語の輪」特別座談会

なぜ、いま『論語』？ 女性が語るその魅力

鳥取県湯梨浜町、燕趙園内にある孔子像、孟子像を前に

二千五百年前に活躍した中国の思想家、孔子。彼と弟子達が交わした言葉を記録した「論語」。混迷を深める現代に論語を生かそうと財団法人人間自然科学研究所（松江市乃木福富町、小松昭夫理事長）の呼びかけで、各地に「めだか論語塾」が生まれ、活動の輪が拡がっています。その論語塾から稲田幸子さん（松江市）、佐藤京子さん（出雲市）、高瀬寿子さん（出雲市）、堤三千代さん（鳥取県倉吉市）に参加いただき、座談会「なぜ、いま論語なのか」をひらきました。

第1回 論語の風・山陰大会

3月20日に行われたシンポジウム「第一回『論語の風・山陰大会』」では、小松氏による講演を始め、実演学習、実践報告、パネルディスカッションなどが行われ、百人を超える参加者が集まった。

—今日は日本最大の中国庭園、鳥取県湯梨浜町の燕趙園で開かれたシンポジウム「第一回『論語の風・山陰大会』」にあわせて、四人の方にこの座談会に御参加いただきました。出雲から鳥取まで約130人の参加があり、改めて論語ブームを感じました。今回はそれぞれ論語の魅力を語って頂きたいと存じます。早速ですが、皆さんが論語に出会うきっかけは何だったのでしょうか。

【佐藤】論語という言葉の存在は以前から知っていましたが、小松理事長との出会いから小松さんを通じて、安岡定子さん（※）の松江市でのイベントに参加したことがきっかけとなりました。その時に、論語は大切なものなのだと気付かされ、自分の地域でも論語を取り入れた活動をしていきたいと思いました。

【堤】もともと隠岐に住んでいたのですが、日常生活において迷うことが多くて、自分で心の支えになるものや言葉を探していた時に、新聞記事で、岡山で論語の学習が行われているのを知りました。それ以来、論語を学びたいと思っていたのですが、昨年一月に湯梨浜町で論語塾が開設されている記事を見かけ、孫が湯梨浜に住んでいることもあり、良い機会だと思って入りました。

【稲田】小松理事長から、「東京で子どもたちが論語を学んでいる」という話を聞いたのがきっかけでした。話を聞いたときには論語と「子どもたち」が頭の中で結びつかなかったのですが、その資料を見たときに、子どもたちが生き生きとして学んでいる姿を見て、感動しました。論語の奥深さや、大切な言葉がたくさん詰まっていることに気付き、心を動かされました。

【高瀬】私はもともと、ガールスカウトの活動を行っていますので、いつも考えているのは青少年の育成です。そうしたときに、佐藤さんと一緒に参加した会で「子ども論語塾」の話を聞いて、興味を持ちました。その後東京の子どもたちが論語を学んでいる映像を見て、自分もやってみたいと思うようになりました。

—「めだか論語塾」はどのような思いでスタートさせましたか。

【稲田】知人に声を掛けたところ、当初五人が集まりました。いろいろ話し合う中で、まず私たち自身が論語のことを学んでいく必要があるという共通の思いになり、自主的な学習の場からスタートしました。

【佐藤】当初は、子どもに学んでもらおうと思っていたのですが、私もやはり大人が学ぶ姿が大事なのではないかと。まずは、大人たちが忘れかけている「学ぶ姿勢」を取り戻すことから始めようと考えました。

【高瀬】私は、小さな子どもたちに論語の読み聞かせができる、指導者の育成を目指しました。そこで四十歳代から五十歳代の方々に声を掛けたのですが、「習い事」のイメージが強くなかなか難しい。ならばと、自分たちおばあちゃん世代が論語を通してどのように社会や孫たちの世代と関わっていけるのか、ということを考えようと思いました。今後、夏休みには寺子屋のような形で、子どもたちを集めた論語塾を開催します。

—実際に学んでみて、いかがでしたか

【堤】まだまだ勉強不足ではありますが、もっと早く、若いときから勉強しておきたかったと思いました。自分の子どもや、孫のときにもこういう教育があればと。ゆとり教育の弊害というか、当時何が足りなかったのか、反省も含めて心の芯になるものが見えてきた気がしています。

【高瀬】受講して下さっている方から、「普段の家庭内でのわだかまりが減り、夫からも、変わったな、と言われるようになりました」と感想を仰って下さった方もいます。

【佐藤】私も、始めは「人のため」でしたが、今は自分のため。論語を学んでいると本当に心が落ち着きます。

佐藤京子（さとう・きょうこ）
「平田めだか論語塾」のメンバー。65歳。

稲田幸子（いなた・さちこ）
「八雲めだか論語塾」のメンバー。69歳。

—それは、何故でしょうか。

【佐藤】論語が孔子本人が書いた経典ではなく、弟子たちが記録したものである、というところが大きなポイントだと思います。読んでいると、文章から弟子たちが師を敬い、また、師が弟子を思う心がよくわかります。そのお互いの心が絆を作っていて、その絆の大切さを自然に知り、受け入れることができるようになっているからではないでしょうか。

—論語というと、難しい、堅い、そんなイメージがありますが。

【稲田】私たちは体験素読を行っています。新入会の方は、一回目は無料で参加していただいています。素読を体験することはとても大切なことで、実際に声に出して読むことで心が落ち着き、「論語の精神」が少しずつ理解することにもなります。「論語の学習」というといかにも取っ付き難いものですが、体験することからスタートすることで、楽に考えてもらえるのではないでしょうか。素読は子どもからお年寄りまで誰でも参加でき、一緒に学べる場でもあることも大きな意味があると思います。

【高瀬】私の教室には孫を連れて来られる方もいらっしゃって、実際子どもたちの方が楽しく素読を学んでいるように感じます。

【堤】子どもにも理解できるものだと思いますし、また、高校生や中学生になる前、幼稚園や保育園、小学生の時にこそ学んでほしい、学ぶべきものだと思います。

堤三千代（つつみ・みちよ）
「湯梨浜めだか論語塾」のメンバー。67歳。

高瀬寿子（たかせ・としこ）
「出雲めだか論語塾」のメンバー。63歳。

—では、なぜ、いま論語なのでしょうか

【堤】今の子どもたちの親の世代には、論語の精神から離れていて、基本的な道徳そのものが欠けているように感じます。そういった一番大切なものを学び、補うものとして論語があり、今「論語塾」があるのだと思います。

【稲田】私たち日本人として、本来持っている優しさや思いやりの心は誰にでもあるはずです。しかし、価値観が多様化する現代社会では目に見える成果や個人の価値観が重要視されて、結果として目に見えない大切なものがおろそかになってしまったのではないでしょうか。論語はその心を形に表すことができるきっかけの一つと考えています。将来を担う子どもたちにも、心のもととなる場となれば嬉しいことです。

【高瀬】安岡さんに以前、「子どもは体が成長するように、心も大きく成長する」と言われたことがあります。今は小さなその心に、どういうものを入れていくかがすごく大事だと思います。そのとき意味が分からなくても、大人になっていつか必ず気が付いたり、思い出したりするものなので、今、子どもたちに思いやりや優しさを伝えて、そうしたもので心の中を満たすことが、論語やそれを伝える私たちの役割なのだと思います。決して宗教ではなく、昔から続く大切な文化だということを伝えるのが大切です。

【佐藤】誰もが持っている悪の気持ちを正しながら、導いていく力が論語にはあります。良いことばかり書かれているのではなく、読んでいる人間に問いかけながら、自分で考え行動する、そういった力を養うことが出来ると思います。そして何より、読んで楽しい。そういった場をいかに作るか、私たち大人が話し合いながら考えていきたいと思います。

※安岡定子（やすおか・さだこ）氏。思想家、安岡正篤氏の孫。「銀座・寺子屋こども論語塾」、「文の京こども論語塾」など、全国各地で子どもやその保護者たちに論語の講義活動を行っている。

各地の「めだか論語塾」案内

出雲めだか論語塾
毎月第3土曜日14:00～16:00
場所：出雲市塩冶神前4-4-19・クローバー・ワークス
【お問い合わせ】
電話・0853-23-6768・高瀬寿子
講師：岩本 勍　受講料：1,000円/月

平田めだか論語塾
毎月4木曜日10:00～12:00
場所：出雲市平田町911・平田コミュニティセンター
【お問い合わせ】
電話0853-63-1385・多久和淑子・佐藤京子
講師：岩本 勍　受講料：500円/月

乃木論語教室
毎月第3土曜日10:00～11:30
場所：松江市浜乃木1の8の17・乃木公民館
【お問い合わせ】
電話：0852-23-7155・石原亨・水野真季子
講師：石原 亨　受講料：200円/月

八雲めだか論語塾
毎月第2土曜日10:00～12:00
場所：松江市八雲町日吉・日吉ふれあい会館
【お問い合わせ】
電話・FAX0852-54-1072・稲田幸子
講師：小谷忠延　受講料：500円/月

城北めだか論語
毎月第3月曜日13:30～15:00
場所：松江市北堀町43・城北公民館
【お問い合わせ】
電話・0852-26-4437・音田博路
講師：河角 静　受講料：500円/月

湯梨浜めだか論語塾
2か月毎第3土曜日14:00～15:00
場所：湯梨浜町田畑32-1・湯梨浜学園
【お問い合わせ】
電話・0858-35-4186・磯江公博
講師：坂根　徹　受講料：無料

湯梨浜学園めだか論語塾
2ヵ月毎 土曜日14:00～15:00
場所：湯梨浜町田畑32-1・湯梨浜学園
【お問い合わせ】
電話0858-48-6810・坂根　徹
講師：坂根　徹（理事長）　授業の一環として教育

賀茂保育園めだか論語塾
毎月1回（月末）10:00～10:30
場所：三朝町本泉916・賀茂保育園
【お問い合わせ】
電話：0858-43-0555・金田彰孝
講師：磯江公博　保育の一環として指導

私たちは地域に論語の輪が拡がる活動を応援します。

有限会社アーク工業所・株式会社エナテクス・カットサロン アルファ・山陰三菱電機機器販売株式会社・大昌株式会社・nippo 株式会社ニッポー
はたご小田温泉・ヒロシ株式会社・社会福祉法人 福生会 三朝町立賀茂保育園・MONTMARTRE ㈱ふじや
株式会社プラテックヤマヨシ・株式会社 報光社・株式会社松江安全・学校法人 湯梨浜学園・株式会社吉谷・有限会社米子プリント社
マクロビオティック・アカデミィSpiral・小松電機産業株式会社・財団法人人間自然科学研究所

〈順不同〉